



2026年3月31日

各位

会社名 株式会社 MUSCAT GROUP
代表者名 代表取締役 大久保 遼
(コード：195A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森岡 祐平
(TEL. 03-6684-2373)

特別利益及び特別損失の計上（見込み）並びに通期連結業績予想修正のお知らせ

当社は、2026年3月期の連結決算において、下記のとおり特別利益（関係会社株式売却益）及び特別損失（のれんの減損損失及び事業撤退損）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、これに加えて、2025年11月14日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 計上見込み額（概算額）

関係会社株式売却益（特別利益）	652百万円
のれんの減損損失（特別損失）	304百万円
事業撤退損（特別損失）	37百万円

(2) 計上の理由

①特別利益（関係会社株式売却益）の計上

当社は、2026年2月18日付「当社子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」及び、2026年3月19日付「[開示事項の経過] 当社子会社の異動（株式譲渡）の完了に関するお知らせ」のとおり、連結子会社であった株式会社ライスカラーLSの株式譲渡完了に伴い、売却益を特別利益に計上するものです。

②特別損失（のれんの減損損失及び事業撤退損）の計上

当社が2022年7月に子会社化し、2024年8月26日付「完全子会社間の合併に関するお知らせ」にて吸収合併方式による解散を公表いたしました旧：株式会社 RiLi（現：株式会社 WinC 内で展開）の「RiLi キャスティング事業」及び「アパレル事業」に係るのれんにおいて、帳簿価額の全額を減損損失として計上いたします。「RiLi キャスティング事業」においては、主要顧客の広告戦略変更やマーケティングの内製化加速に伴い、当初想定していた受注継続の見込みが極めて困難となりました。加えて「アパレル事業（JUDIN）」においても、直近の冬季シーズンの実績不振を鑑み、2026年3月末をもって撤退することを決定いたしました。

当社グループの「ニッチトップ戦略」を推進するなか、当該事業は今後の経営資源投下の優先順位が低下しており、将来の不透明性を早期に解消し、財務体質の健全化を図るため、当該のれんの全額を減損処理することといたしました。

また、本事業撤退及び小規模な他ブランドの撤退に伴う事業撤退損も特別損失に計上しております。

2. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	調 整 後 E B I T D A ※ 1	調 整 後 当 期 純 利 益 ※ 2
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 4,470	百万円 —	百万円 350	百万円 218
今 回 修 正 予 想 (B)	4,100	△439	△90	334
増 減 額 (B - A)	△370	—	△440	116
増 減 率 (%)	△8.3%	—	—	53.2%
(参考) 前期連結 実 績 (2025 年 3 月期)	2,986	88	235	159

※1) 連結営業利益+減価償却費+のれん償却費+取得関連費用

※2) 親会社株主に帰属する当期純利益+のれん償却費+のれん減損損失-負ののれん発生益-税効果に関する損益及び法定税率による税金額との差異+取得関連費用

(2) 修正の理由

売上高につきましては、2025 年 10 月に連結子会社となった株式会社かならぼにおいて、主要販売チャネルであるバラエティストア等の小売市場における競争激化や消費動向の変化といった市場環境の悪化を受け、販売実績が前回発表予想を下回る推移となりました。加えて、ブランドパートナー領域においても、クライアント企業の広告宣伝費抑制やマーケティング戦略の内製化加速に伴う受注案件の減少など、厳しい事業環境の影響を大きく受けた結果、売上高は前回発表予想を 370 百万円 (8.3%) 下回る 4,100 百万円となる見込みです。

調整後 EBITDA につきましては前回発表予想を 440 百万円下回る△90 百万円となる見通しです。この背景には、減収による影響、原材料費及び物流コストの高騰、さらには為替変動の影響等が利益を圧迫したことが挙げられます。また、株式会社かならぼにおいても、今後の販売戦略に基づき回転率の低い在庫 58 百万円 (2025 年 12 月末時点) について、将来の収益性低下を未然に防ぐための先んじた評価損を計上しております。

調整後当期純利益につきましては、関係会社株式売却益の特別利益計上に加えて、株式会社 RiLi ののれん減損及び事業撤退損の特別損失を控除することにより前回発表予想を 116 百万円 (53.2%) 上回る 334 百万円となる見込みです。事業撤退損においては、来期以降の収益性を抜本的に改善させるため、不採算事業の整理及び在庫の健全化に係る一過性のコストを今期に集中して計上しております。撤退を決定したブランドのうち、「JUDIN」12 百万円及び「HICAT」3 百万円 (いずれも 2026 年 1 月末時点) を含む在庫処分を断行いたしました。

今回の施策は、当社グループが推進する「ニッチトップ戦略」に基づき、不採算領域からの撤退を進めるとともに、経営資源を高成長・高収益領域へと大胆にシフトすることを目的として実施したものです。これら一連の構造改革により、将来にわたる不透明なリスクや負の遺産については、今期中に解消いたしました。

来期におきましては、為替変動に伴う原材料費および物流費の高騰に対し、商品価格への適切な転嫁を図るとともに、粗利率の高い販路における売上拡大に向けた施策を着実に推進してまいります。また、販売費及び一般管理費においては、広告費の最適化およびコーポレート業務への AI 活用を通じた外注コストの削減を進め、収益性のさらなる向上に努めてまいります。

これにより負担となるコストを排除した、より筋肉質で強固な収益構造へと転換し、成長軌道への回帰と持続的な企業価値向上を確固たるものにしてまいります。

なお、来期以降の具体的な事業計画につきましては、本日公表いたしました「VISION2029～中期経営計画～」に詳細を記載しておりますので、併せてご参照ください。

以 上